

兵庫県知事選でSNS上にデマ 警察が捜査へ 稲村陣営の告発状受理 「X凍結」業務妨害疑いでも告訴

2024/12/20(金) 9:29 配信 181 🗨️ 😊 😊 📧

me5NEWS



会見する稲村陣営の弁護士

兵庫県知事選挙でSNS上にデマを流され、選挙活動が妨害されたとして、前尼崎市長の稲村和美さんの陣営が警察に提出していた告発状が受理されました。

告発対象者は特定の人物に絞り込み

前尼崎市長の稲村和美さんは、11月17日の兵庫県知事選で斎藤元彦知事に次点で敗れました。



後援会によりますと、稲村さんが否定しているにもかかわらず、X（旧ツイッター）上で「県庁の建て替えに1000億円の費用をかける」「外国人参政権を推進している」などといったデマが拡散されたということです。

敗戦の弁を述べる稲村和美さん

このため後援会は11月22日、複数のアカウントを公選法違反の疑いで警察に刑事告発していましたが、12月20日午前に受理されたと明らかにしました。告発対象者は多数いたものの絞り込み、特定の人物について受理されたということです。

また、ウソの通報で後援会のアカウントが2度凍結されたとして、偽計業務妨害の疑いで刑事告訴していた件についても受理されたことを明らかにしました。告訴対象者の氏名は特定していないということです。

今回の告発・告訴について稲村陣営は、選挙結果に疑義を唱えるものではなく、今後のより良い選挙のあり方に資することが目的としています。